



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (11月12~13日)

- 1. 第一副大統領とイラク・クルド政府首相の会談** (13日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)  
ラヒーミー第一副大統領は、イラク・クルド政府のマスウード・バールザーニー首相と会談し、イランとクルド地域との貿易関係を強化していく必要性を強調、双方の貿易額を150億米ドルに高める努力をすべきであるとした。
- 2. インフレ率** (12日付イラン・ニュース紙)  
イラン中央銀行が24.9%であるとした先月のインフレ率について、不特定の経済学者が疑問を呈し、実際は26%であり、ここ数カ月で30%に達するであろうと警告した。
- 3. 自動車価格の自由化** (13日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)  
鉱工業・商業大臣は、自動車価格を自由化しようとしている。
- 4. 家賃動向** (10日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)  
今夏、不動産市場は幾分景気後退の影響を受けたが、家賃は急激に上昇している。来年の家賃動向には2つのシナリオが可能性として存在する。メフル住宅計画の完了により需要がカバーされるか、家主が引き続き家賃を上げようとするかのどちらかである。
- 5. 出入国時の規制** (12日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)  
イラン中央銀行ウェブサイトにより発表された規制によれば、イラン人および外国人は、出入国時に最大500万リヤル(注:公定レートで約400米ドル)の所有が可能であり、これを超える場合には、イラン中央銀行に報告した上で許可を得ることが必要である。
- 6. 留学生への外貨割当** (13日付イラン紙)  
為替センターのキャリミー報道官によれば、奨学金を受給していないイラン人留学生に対する外貨割当は15日以内に行われる。
- 7. 経済・財務大臣の発言** (13日付イラン・ニューズ紙)  
シャムソッディーン・ホセイニー経済・財務大臣は、イランは単一為替レートに戻るべきであると述べた。

#### 8. 来年度予算案提出の遅延（13日付ハムシャフリー紙）

来年度〔イラン暦1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算案を提出するにあたり、政府には20日しか残されていない。国会の内規は、アーザル月15日（2012年12月5日）を、政府の予算提出締切としているが、近年、同内規は無視されている。

#### 9. 医療費支払額（12日付イラン・ニュース紙）

イラン国会の厚生委員会委員長は、本年〔イラン暦1391年（2012年3月20日～2013年3月20日）〕の医療費支払額は、昨年〔イラン暦1390年（2011年3月21日～2012年3月19日）〕の6億リヤルに比べ、2倍の12億リヤルに達すると発言、政府が医薬品ではなく、贅沢品の自動車に米ドルを使用していることを批判した。